

ISL Conference Proxy 4.3.9 (2017.5.10)

【ISL Conference Proxy 4.3.9】

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
(「ダウンロード」ページから各製品のプログラムが簡単に取得できるようになりました。)
- ◆ パケット生成やデータベースの処理プロセスの改善によりパフォーマンスが向上しました。
- ◆ 複数サーバーご利用時にシングルアドレスで運用できるようになりました。
- ◆ 新モジュール「authenticator」を実装しました。
(LDAP 認証の SSO オプション : SSO_LDAP_SCOPE、SSO_LDAP_BASE、SSO_LDAP_FILTER のサポートを開始しました。)
- ◆ インストール時にローカルシステムアカウントによって実行されるサービス「ISL Conference Proxy rights」が作成されます。
- ◆ ユーザーごとにグループの作成・編集・削除を許可/禁止できるようになりました。
Configuration > Security または Usermanagement > Security 内の
 - User can create groups (グループの作成)
 - User can edit groups (グループの編集)
 - User can delete groups (グループの削除)
- ◆ セッション転送、オペレーター転送の招待メールを編集できるようになりました。
Configuration > Light > Mail template for session transfer
Configuration > Light > Mail template to attach to running session
- ◆ 特定製品の使用を禁止している際のエラーメッセージを編集できるようになりました。
Security > Error message for disabled module
- ◆ モジュールの読み込みに失敗した際に管理者に通知メールが届くようになりました。
- ◆ 履歴ページにセッションコードが表示されるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ Windows Server 2016 のサポートを開始しました。
- ◆ Windows Server 2003、2003R2、2008 SP2(32bit)のサポートを終了しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2k に更新しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、ユーザーがプロダクトログインページに初回ログインする際に必ずパスワード変更を求める仕様に変わりました。
(Usermanagement > User must change password の初期設定を「Yes」に変更しました)
- ◆ jQuery ライブラリのバージョンを 1.12.4 に更新しました。

- ◆ PostgreSQL のバージョンを 9.3.10 に更新しました。
- ◆ トラブル防止のため、サーバーの再起動を行うボタンをグレーアウトしました。
(「Restart selected」にチェックを入れると実行ボタンが押せるようになります)
- ◆ ISL Conference Proxy の再起動中に Windows の時間を逆行させると、サービスが起動しなくなる問題を解消しました。
- ◆ セッション転送の招待メールを題名をブランクにして送信すると、転送先で文字化けが発生する現象を解消しました
- ◆ プロダクトログインページのフッター内の「マニュアル」はご利用いただけません。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、Mac 端末で ISL Light Desk が起動できなくなります。
- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット (すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」) 実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの「ダウンロード」で取得できる「ISL Groop Android」はサポート対象外です。
- ◆ プロダクトログインページの履歴から[エクスポート]ボタンで出力した CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われています。(unescape 関数で変換を行うことで日本語で表示できます)
- ◆ プロダクトログインページの「常駐接続」に関する以下の設定はご利用いただけません。
ConfigurariOn > ISL AlwaysOn
 - User can use actions functionality (「その他」の非表示)
 - User can use files functionality (「共有ファイル」の非表示) ※
 - Hide WakeOnLan functionality (「WOL 送信」ボタンの非表示)

これら機能をご利用いただく場合は、ISL AlwaysOn のプロダクトログインページのバージョンを変更していただく必要がございます。(詳しくは ISL Conference Proxy のマニュアルをご参照ください)

※No にすると「共有ファイル」はメニュー内に表示されますが、共有ファイルのページにはアクセスできない状態となります。

【ISL Light 4.1.1、ISL Light Desk&Client 4.1.4】 for Windows

● 新機能

ISL Light 4.1.1

- ◆ 「常駐接続」で、以下の機能が利用できるようになりました。
 - 接続先 PC のグループ分け（グループの作成、編集、削除）
 - 接続先 PC をグループ内共有
 - 接続先 PC のタグの編集
 - 接続先 PC の削除
 - コンピューターリストの画面更新
- ◆ ログイン後、UI 上で以下のショートカットが利用できるようになりました。
 - CTRL/CMD + G : グループ作成
 - CTRL/CMD + , : Light の設定を開く
- ◆ Light4 の UI から以下の項目を非表示にできるようになりました。（ISL Conference Proxy の管理画面で設定が必要です）
 - 「常駐」
 - 「パスワードを忘れた場合」
 - 「ログイン情報を保存」
 - 「接続先のサーバー名」
- ◆ 常駐接続で、アクセスパスワードを入力せずにクライアントに接続できるようになりました。（コマンドプロンプトによる実行が必要です）
- ◆ 常駐接続で、接続先 PC の名前（通称）を変更できるようになりました。
- ◆ セッション招待の画面に「メールソフトで送信する」を追加しました。
- ◆ [設定] > [一般] > 画面共有のグラフィックアクセラレーションで、Windows ネイティブ/DirectX の切り替えができるようになりました。（画面共有時に CPU 使用率が上昇する際のトラブルシューティングとして利用できます）
- ◆ [設定] > [カスタマイズ] で、現在使用中のカスタマイズの一覧が確認できるようになりました。

ISL Light Desk&Client 4.1.4

- ◆ 接続中の Windows のクライアントに対して、セッションを終了せずに別のオペレーターを招待できるようになりました。（同時接続が 2 本以上可能なライセンスを保有する必要があります）
- ◆ ビデオチャット開始時の画質（初期値）が Video High Quality (160 kbps/VPX) に変わりました。

● 変更・修正事項

- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
- ◆ ユーザー利便性向上のため、ツールバーの項目の配置を一部変更しました。

- ◆ セッション招待の画面で入力可能なテキストの文字数を、最大 1000 文字に設定しました。
- ◆ セッション招待のメール内のリンクをクリックすると、自動的にダウンロードページに遷移してクライアント用 exe のダウンロードを開始するようになりました。
- ◆ ワンタイムで「チャットのみ」を選択して接続後、クライアント側にチャットウィンドウが表示されるようになりました。
- ◆ ワンタイムで Mac 端末に接続後、ファイル転送でフォルダの「置き換え（上書き）」ができない問題を解消しました。
- ◆ ワンタイムで Mac 端末に接続後、ファイル転送で送信した「フォルダ」をゴミ箱に移動できるようになりました。（常駐で接続した場合はゴミ箱に移動できません）
- ◆ ワンタイムで Mac 端末（OSX 10.8 以上）に接続後、セッション再接続を有効にできるようになりました。（クライアントが Light4 の UI からセッションを開始している必要があります）
- ◆ 「常駐」の画面から「このコンピュータを登録する」のボタンを削除しました。
- ◆ オプションから「ワンタイム」「常駐」の切り替え機能を削除しました。
- ◆ フルスクリーンのショートカットを「Ctrl+Shift+Esc」から「CTRL + ESC」に変更しました。
- ◆ 一部のタブレット環境で、スクリーンの回転に共有画面が対応しない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、インストール中のウィンドウメッセージが文字化けする現象を解消しました。
- ◆ ISL Conference Proxy の管理画面 Advanced > GUI features で ISL Light 4 (light_v2) の機能を禁止していると、使用時に警告メッセージが表示されるようになりました。
- ◆ MacOSX 10.9 以上がインストールされている Mac 端末または iOS 製品のシステム情報（RAM 使用量）が正常に表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Light 4 は、ビデオチャットおよび音声チャットに対応していません。
- ◆ ヘッドセットおよびカメラを使った会話はオペレーターおよびクライアントが Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 録画したファイルを ISL Player で再生すると、カメラ映像（ビデオチャットの画面）が上下反転します。
- ◆ 設定内の[基本設定] > [デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]は利用できません。
- ◆ 設定内の[詳細設定]は利用できません。
- ◆ ISL Light 4 から接続を行った場合と、ISL Light Desk から接続を行った場合では、画面共有時のツールバーが異なります。
- ◆ 接続される側が Windows PC で、ISL Light Client から接続を行った場合は接続される側にコントロールバーは表示されません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 からワンタイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ 共有画面（ISL View）上へのドラッグ&ドロップによるファイル転送は、ISL Light 4 から接続を行

った場合のみご利用いただけます。

- ◆ 「常駐」で接続後、ファイル転送によるフォルダの「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合は利用できません。
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 以上、ISL AlwaysOn 2.2.3 以上を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でオペレータが ISL Light Desk、クライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- ◆ オペレータ PC の OS が Windows 8、8.1、10 で、かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、2012 R2、2016 には対応していません。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続（ISL AlwaysOn）の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ ログインページの「常駐接続」で「接続」をクリックした後に「パスワードを保存する」を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。（ISL Light 4 の UI（常駐）から接続する場合は問題ございません）（2017.12.20）
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ [システム情報] > [開く]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ [システム情報] > [ログ (Client)]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

【ISL AlwaysOn 2.2.9】 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
- ◆ 接続先 PC のグループ分け（グループの作成、編集、削除）に対応しました。
- ◆ プロダクトログインページの常駐画面で[接続]をクリックすると、ISL Light.exe がダウンロードされる仕様になりました。※（以前のバージョンのプログラムを使用する場合は、[接続（以前のバージョン）]をクリックしてください。）
※音声チャット、ビデオチャット、遠隔プリントをご利用の場合は、以前のバージョンのプログラムで接続を行ってください。
- ◆ ISL Conference Proxy の管理画面からクローニングが行えるようになりました。（詳細は常駐接続（ISL AlwaysOn）大量導入 & アップグレードマニュアルをご参照ください）

● 変更・修正事項

- ◆ Windows Server 2016 のサポートを開始しました。
- ◆ プロダクトログインページで、複数台の端末に対して「EXE 実行」と「シャットダウン」を実行できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの各検索パラメータが使用できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの[アクション]で、「シャットダウン」機能が動作しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP 端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。（2017.9.28 追記）
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。（一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。）
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。（詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください）
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、

すべてのパスが表示されません。

- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

【ISL Groop 3.1.0】 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトページのデザインを一新しました。
- ◆ ホストから参加者に対して ISL Light によるリモート接続を開始できるようになりました。
(接続を開始するホストが ISL Online のアカウントを所有する必要があります。Web 会議のセッション分とは別に同時接続ライセンスを消費します。)

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が、Windows 7 以上になりました。
- ◆ セッションコードの入力時、ダッシュ (-) の入力が必要になりました。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 インストールしている環境で Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルをインポートできない問題を解消しました。
- ◆ 拡張子が「.jpeg」の JPEG ファイルをインポートできない問題を解消しました。
- ◆ フルスクリーンモードの実行後、解除するまでマウスカーソルが消えてしまう問題を解消しました。
- ◆ ウィンドウを最大化した状態でフルスクリーンに切り替えると、通常のウィンドウサイズに戻せなくなる問題を解消しました。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ Microsoft PowerPoint 2016 には対応していません。
- ◆ 画面共有時の「アプリケーション共有」機能はご利用いただけません。(2018.1.18 追記)
- ◆ 一部メニューが英語で表示されます。

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

【ISL Light 4.1.2、ISL Light Client 4.1.2】 for Mac

● 新機能

- ◆ macOS Sierra に対応しました。

● 新機能 (ISL Light 4.1.2 のみ)

- ◆ 「常駐接続」で、以下の機能が利用できるようになりました。
 - 接続先 PC のグループ分け (グループの作成、編集、削除)
 - 接続先 PC をグループ内共有
 - 接続先 PC のタグの編集
 - 接続先 PC の削除
 - コンピュータリストの画面更新
- ◆ Light4 の UI から以下の項目を非表示にできるようになりました。(ISL Conference Proxy の管理画面で設定が必要です)
 - 「常駐」
 - 「パスワードを忘れた場合」
 - 「ログイン情報を保存」
 - 「接続先のサーバー名」
- ◆ 常駐接続で、接続先 PC の名前 (通称) を変更できるようになりました。
- ◆ セッション招待の画面に「メールソフトで送信する」を追加しました。
- ◆ [設定] > [一般] > 画面共有のグラフィックアクセラレーションで、Windows ネイティブ/DirectX の切り替えができるようになりました。(画面共有時に CPU 使用率が上昇する際のトラブルシューティングとして利用できます)
- ◆ [設定] > [カスタマイズ] で、現在使用中のカスタマイズの一覧が確認できるようになりました。
- ◆ 無操作状態での画面更新のパフォーマンスを改善しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が、OSX 10.8 (Mountain Lion) になりました。
- ◆ ユーザー利便性向上のため、ツールバーの項目の配置を一部変更しました。
- ◆ セッション招待の画面で入力可能なテキストの文字数を、最大 1000 文字に設定しました。
- ◆ ワンタイムで「チャットのみ」を選択して接続後、クライアント側にチャットウィンドウが表示されるようになりました。
- ◆ ワンタイムで Mac 端末 (OSX 10.8 以上) に接続後、セッション再接続を有効にできるようになりました。(クライアントが Light4 の UI からセッションを開始している必要があります)
- ◆ 「常駐」の画面から「このコンピュータを登録する」のボタンを削除しました。
- ◆ オプションから「ワンタイム」「常駐」の切り替え機能を削除しました。

- ◆ 一部のタブレット環境で、スクリーンの回転に共有画面が対応しない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、インストール中のウィンドウメッセージが文字化けする現象を解消しました。
- ◆ MacOSX 10.9 以上がインストールされている Mac 端末または iOS 製品のシステム情報（RAM 使用量）が正常に表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ビデオチャットおよび音声チャットには対応していません。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送には対応していません。
- ◆ 設定内の「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」は利用できません。
- ◆ クライアント Windows PC で ISL Light 4 からワнтаム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ ワнтаムで Mac 端末に接続後、ファイル転送でフォルダの「置き換え（上書き）」ができるようになりました。（常駐で接続した場合は置き換え（上書き）できません）
- ◆ クライアントが Mac（ISL Light 4.0.4 以上、ISL AlwaysOn 2.2.3 以上を利用中）の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 「Ctrl + Alt + Del の送信」「Win + L」「Win + R」はクライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「品質を優先する」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、クライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、2012 R2、2016 には対応していません。
- ◆ クリップボードが有効の場合、日本語をクリップボードで保存して ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行うと文字化けが発生します。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はございません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続（ISL AlwaysOn）の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

【ISL Light Desk 3.3.5】 for Mac

※前回リリース時からプログラムに変更点はありません。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」 (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません (※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます (※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値 (自動) になっている場合は、エラーメッセージが表示されます (※2)。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター (ワンタイム接続に関する質問) ページをご参照ください。

【ISL AlwaysOn 2.2.9】 for Mac

● 新機能

- ◆ macOS Sierra に対応しました。
- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
- ◆ 接続先 PC のグループ分け（グループの作成、編集、削除）に対応しました。
- ◆ プロダクトログインページの常駐画面で[接続]をクリックすると、ISL Light.exe がダウンロードされる仕様になりました。※（以前のバージョンのプログラムを使用する場合は、[接続（以前のバージョン）]をクリックしてください。）

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が、Mac OS X 10.7（Lion）になりました。
- ◆ プロダクトログインページで、複数台の端末に対して「EXE 実行」と「シャットダウン」を実行できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの各検索パラメータが使用できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの[アクション]で、「シャットダウン」機能が動作しない問題を解消しました。
- ◆ レコーディングファイルの ISL Conference Proxy サーバーへの自動保存を有効にしている場合に、プロダクトログインページ（常駐接続）から接続できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wsstun-direct, wsstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしていません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

製品の詳しい情報については、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。

<http://www.islonline.jp/>

ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

Pot za Brdom 100

SI-1000 Ljubljana

Slovenia, EU

URL: <http://www.xlab.si/>



ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 1-20-8

寿パークビル 7F

URL: <http://www.oceanbridge.jp/>

